

令和5年中の火災件数 25件

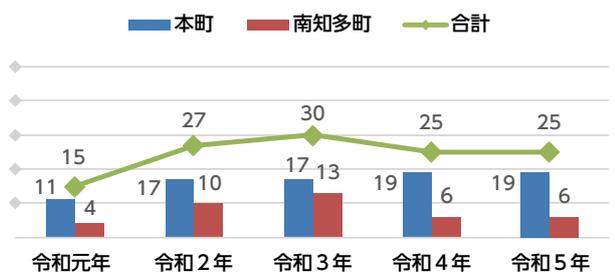
暮らしを守る



令和5年中の火災統計がまとまりました。総出火件数25件で前年と同じ件数となりました。火気の取り扱いに十分注意し、私たちの町から火災をなくしましょう。

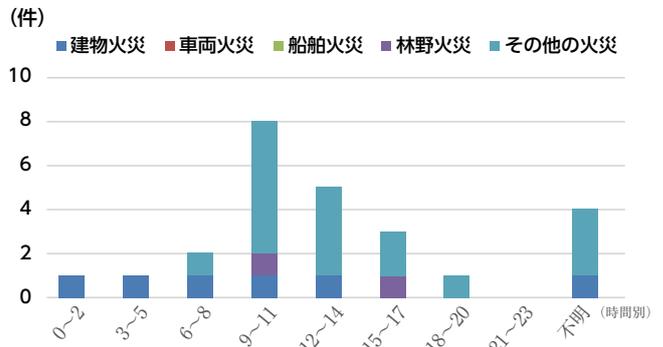


過去5年間の出火件数の推移



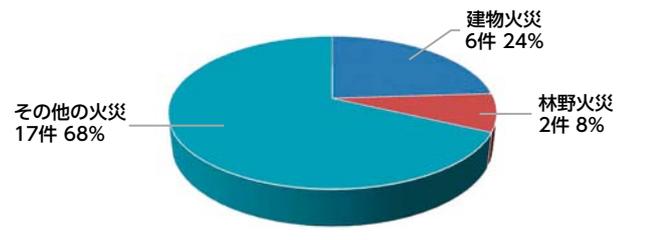
時間別の火災種別出火件数

火災の発生を時間別にみると9時から11時台が8件で最も多く、次いで12時から14時台が5件となっています。



火災種別出火件数

火災の発生を火災種別ごとにみると、その他の火災が17件(68%)、次いで建物火災が6件(24%)となっています。

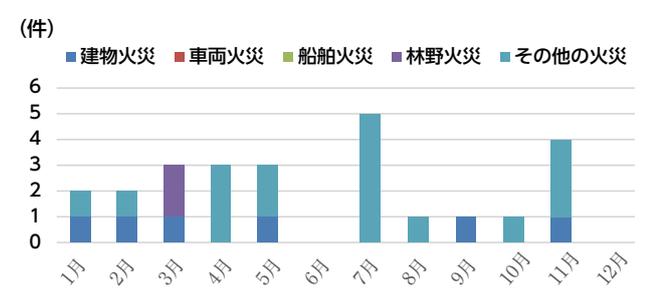


出火原因別出火件数

火災の発生を出火原因別でみると、火入れやごみの焼却(その他に含む)から発生する火災が多く発生しています。また、放火の疑いが原因の火災も4件と昨年に同様に多く発生しています。

月別の出火件数

火災の発生を月別でみると、6月と12月が0件ですが、7月は5件と、最も発生した月となっています。



区分	出火件数	出火原因別													
		たばこ	こんろ	かまど	ストーブ	電灯・電話等の配線	配線器具	火遊び	マッチ・ライター	たき火	火入れ	放火	放火の疑い	その他	不明・調査中
令和4年	25	2					1					1	5	12	4
令和5年	25									2	4	1	4	9	5
増減数	0	△2	0	0	0	0	△1	0	0	2	4	0	△1	△3	1

令和5年中(1月～12月)

救急統計



救急出場件数は消防組合発足以来、過去最多に

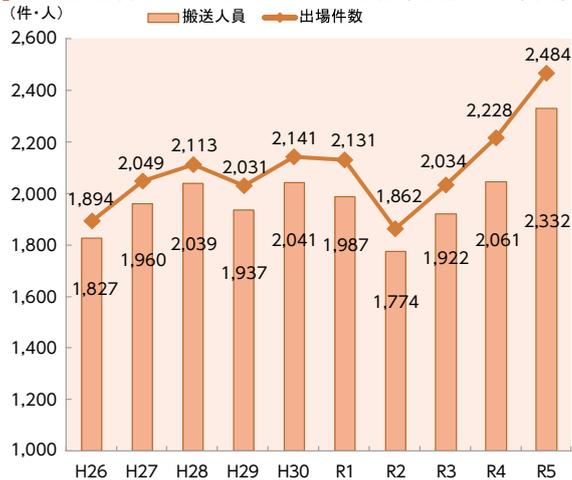
令和5年中の救急統計がまとまりました。

救急出場件数は、令和4年中と比べ256件増加し、2,484件で過去最多となりました。また、1日平均で見ると6.8件となっています。

搬送人員は、入院を必要としない「軽症傷病者」の割合が、全体の43.3%となっています。

また、年齢別では、69.5%が高齢の方(65歳以上)となっています。

【救急出場件数及び搬送人員の推移(過去10年間)】

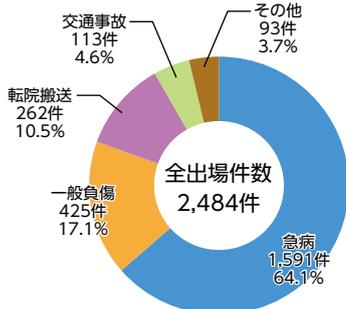


【町別・月別出場件数】

(単位: 件)

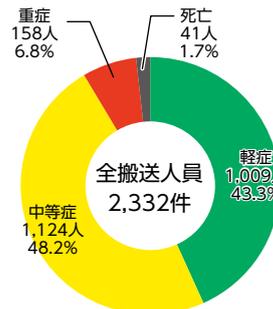
町別	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
南知多町	97	75	101	91	84	92	110	147	91	92	84	92	1,156
本町	109	89	92	115	116	102	128	130	125	93	108	120	1,327
管外	1												1
合計	207	164	193	206	200	194	238	277	216	185	192	212	2,484

【事故種別の1位は急病で全体の64.1%】



事故種別で見ると、急病が1,591件で最も多く、全体の64.1%を占めています。次いで一般負傷(ケガなど)、転院搬送の順となっています。

【搬送人員の43.3%が入院を必要としない傷病者】



傷病程度別で見ると、死亡、重症、中等症の傷病者の割合は全体の56.7%、入院を必要としない軽症傷病者の割合は全体の43.3%となっています。

【搬送人員の69.5%が高齢者の傷病者】

年齢区分別で見ると、乳幼児以下(3.5%)、少年(2.8%)、成人(24.2%)、高齢者(69.5%)となっています。

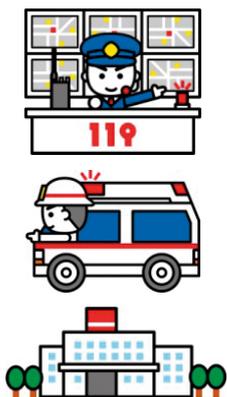
【年齢別・事故種別搬送人員の状況】

(単位: 人)

年齢区分	事故種別				合計	割合(%)
	急病	一般負傷	交通事故	その他		
乳幼児以下(7歳未満)	55	22	0	4	81	3.5
少年(7歳以上18歳未満)	24	13	9	19	65	2.8
成人(18歳以上65歳未満)	328	81	66	90	565	24.2
高齢者(65歳以上)	1,082	296	32	211	1,621	69.5
合計	1,489	412	107	324	2,332	100.0

こんな時は、迷わず119番を

- 意識がない
- 呼吸困難
- 激しい頭痛、胸痛、腹痛
- けいれん
- 広範囲のやけど
- 出血が止まらない…など



ご協力をお願いします。

緊急性がなく、自家用車などで直接病院へ行くことができる場合は、病院照会などを行いますので、お問い合わせください。(☎64-0119)

救急車の正しい利用に、ご理解とご協力をお願いします。

消防署では、皆様の大切な生命を守るために、いつでも救急出場ができる体制をとっています。

昨年は、入院を必要としない軽症傷病者の割合が全体の43.3%を占めました。このことにより、緊急に対応することが必要な方への救急出場が遅れてしまう可能性があります。

緊急性がなく、自家用車などで直接病院へ行くことができる場合は、病院照会などを行いますので、お問い合わせください。(☎64-0119)

大切な命を救うため
救急車の正しい利用を！